

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	転居して半年、地域との関わりを作ろうとしているが、具体的にはなかなか進んでいないのが現状である。工場地帯で小さな工場が多く人の出入りもあまり無い。だからと言って甘んじている訳ではない。施設見学の計画や楽しめる催しものの計画を来年に向け考えている。	施設を知って頂くことと同時に認知症の学習会に参加して頂く。地域との連携を図ることにより、入居者の行動範囲が広くなり、顔見知りの人が多くなる。いずれは施設が地域になくならない居場所となるように関わりを広げたい。	運営推進委員会での提案を行う。施設に来て頂き入居者を知って頂く。また楽しい催し物の計画を立てる。歌、楽器演奏、手品、踊り、読み語り等入居者の方々と地域の方々が仲良くなるよう、楽しんで頂けるような取り組みを実践する。来年に向け計画を進める。	6ヶ月
2	6	指定基準における具体的な行為を全職員が把握できていない。玄関ドアの施錠を実施している。	身体拘束の学習会を早急を実施しすべての職員が把握できるようにする。玄関の施錠をやめる努力をする。	身体拘束の学習会を10月に行う。全員が参加し学び、改善に意欲を持ち続けられるように、生きた学びを実践する。施錠に変えある方法を探す。	3ヶ月
3	21	利用者同士の関係の把握は一人ひとりの入居者の丸ごとを知っていなければ出来ない。まだ、まだ、入居者を断片的にしか捉えられない職員がいる。観察は心が動かないと適切な判断が出来ず見誤ってしまう。	入居者が多くなると、口論、中傷、干渉が多くなり、ざわざわとなる。このざわざわを職員がどう捉え、人と人とを結びつけるのか、この本質をどう捉えるのかで本質が見えてくる。この過程をしっかりと学ぶ。	カンファレンス、ミニカンファレンス、フロア会議等で自分の意見をまとめ伝える。日々の記録の書き方についても、他職員の記録を読んだり、記録から何が読み取れるのかを考える。学習会には意欲的に参加できるようシフトの調整を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。